

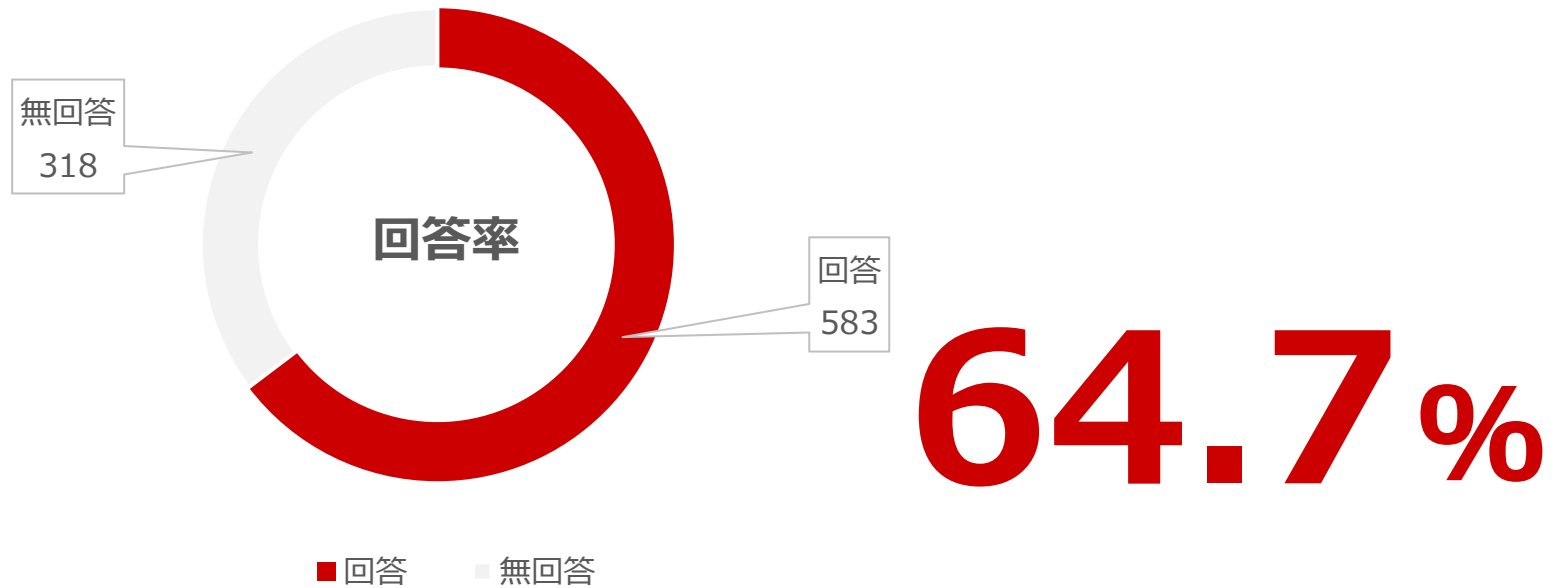
国上校区
地域ワークショップアンケート

国上校区 地域ワークショップアンケート 00_全体集計_校区の困りごと

回答数	583	男性	279	女性	300	無回答	4
-----	-----	----	-----	----	-----	-----	---

10代	13	20代	16	30代	34	40代	40	50代	92	60代	152	70代	125	80代	95	90代	13	無回答	3
-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	----	-----	---

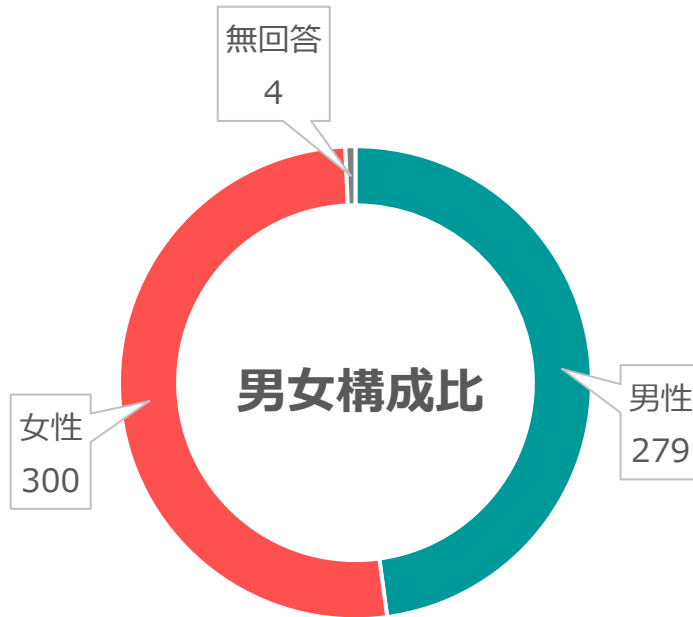
対象者 901名



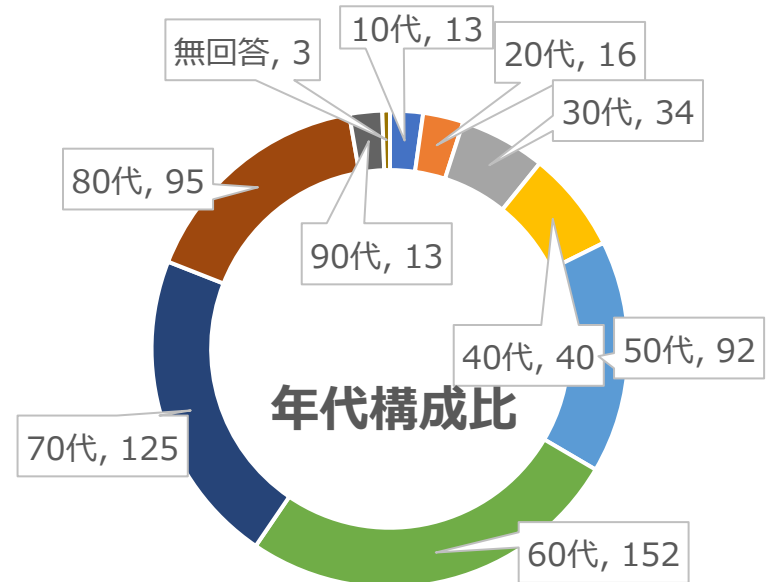
国上校区 地域ワークショップアンケート 00_全体集計_校区の困りごと

回答数	583	男性	279	女性	300	無回答	4
-----	-----	----	-----	----	-----	-----	---

10代	13	20代	16	30代	34	40代	40	50代	92	60代	152	70代	125	80代	95	90代	13	無回答	3
-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	----	-----	---



■ 男性 ■ 女性 ■ 無回答



■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代
■ 60代 ■ 70代 ■ 80代 ■ 90代 ■ 無回答



国上校区

地域ワークショップアンケート

質問1

国上校区 地域ワークショップアンケート 00_全体集計_校区の困りごと（点数順）

質問1_校区の困りごと 点数順

Point

困りごとの上位5つに関心が集まっている

		優先1	優先2	優先3	全体数	点数
1	スーパーや商店がない（少ない）	117	69	58	244	480
2	校区や集落の役員のなり手がいない（負担が大きい）	107	70	47	224	454.1
3	若い人がいなくて地域の行事や清掃ができない。地域活動を支える後継者がいない	77	102	62	241	441
4	部落費や校区費が高い	91	70	72	233	422
5	子どもの数が減って、今後小学校の存続が心配。子育てがしにくい環境である	92	60	44	196	381
6	働く場がなく（少なく）、賃金も少ない	36	46	42	124	189
7	行事やイベントが多すぎる	29	41	55	125	186
8	危険箇所が多い（防犯灯・カーブミラー等の設置が不十分）	25	34	32	91	134
9	高齢者や障害者など支援の必要な方を支援できる人がいない（支援者の負担が大きい）	32	30	34	96	130
10	行きたいところに行ける利用しやすい交通手段がない	24	32	35	91	126
11	独居・単身者が多く、見守り体制が不安、不十分である	25	30	27	82	104
12	自宅の修理や空き家の管理ができていない	19	30	29	78	93.1
13	頼れる家族や親戚が近くにいない人が多い	20	31	26	77	90.2
14	住民同士の交流が少なく、住民同士の繋がりが希薄である	12	32	20	64	71.6
15	地域公共交通等交通機関の利用時間が合わない	11	22	26	59	62.9
16	道路が舗装されていない	9	16	23	48	48.9
17	災害時に避難する場所がなく、防災等に対する取り組みが少ない	9	16	22	47	41.2
18	その他	3	1	2	6	8.75

国上校区 地域ワークショップアンケート 00_全体集計_校区の困りごと（点数順）

質問1_校区の困りごと 点数順

Point

全体、女性はスーパーや商店が近くにないことがトップとなった。

全体

		優先1	優先2	優先3	全体数	点数
1	スーパーや商店がない（少ない）	117	69	58	244	480
2	校区や集落の役員のなり手がいない（負担が大きい）	107	70	47	224	454.1
3	若い人がいなくて地域の行事や清掃ができない。地域活動を支える後継者がいない	77	102	62	241	441
4	部落費や校区費が高い	91	70	72	233	422
5	子どもの数が減って、今後小学校の存続が心配。子育てがしにくい環境である	92	60	44	196	381

男性

		優先1	優先2	優先3	全体数	点数
1	校区や集落の役員のなり手がいない（負担が大きい）	65	38	19	122	256.4
2	若い人がいなくて地域の行事や清掃ができない。地域活動を支える後継者がいない	46	55	28	129	238
3	部落費や校区費が高い	48	34	36	118	211

女性

		優先1	優先2	優先3	全体数	点数
1	スーパーや商店がない（少ない）	72	37	35	144	295
2	部落費や校区費が高い	43	35	36	114	210
3	若い人がいなくて地域の行事や清掃ができない。地域活動を支える後継者がいない	30	45	34	109	198

質問1_校区の困りごと 点数順

10代～50代

男性

		点数
1	校区や集落の役員のなり手がいない (負担が大きい)	100.7
2	若い人がいなくて地域の行事や清掃ができない。地域活動を支える後継者がいない	87.4
3	スーパーや商店がない (少ない)	71.8

女性

		点数
1	スーパーや商店がない (少ない)	111
2	若い人がいなくて地域の行事や清掃ができない。地域活動を支える後継者がいない	86.1
3	校区や集落の役員のなり手がいない (負担が大きい)	71.5

Point

役員のなり手、スーパーや商店がないこと、地域活動を支える後継者がいないことなど男女で項目の違いはないが、優先順位の違いがあるようです。

質問1_校区の困りごと 点数順

60代

男性

		点数
1	校区や集落の役員のなり手がいない (負担が大きい)	80.04
2	スーパーや商店がない (少ない)	53.3
3	若い人がいなくて地域の行事や清掃ができない。地域活動を支える後継者がいない	52.8

女性

		点数
1	スーパーや商店がない (少ない)	87.8
2	子どもの数が減って、今後小学校の存続が心配。子育てがしにくい環境である	73.8
3	校区や集落の役員のなり手がいない (負担が大きい)	60.77

Point

男性は60代に役員をすることが多くなるため、関心が高い。
女性は子どもたちが減ってきていることに不安を感じている。

質問1_校区の困りごと 点数順

70代~90代

男性

		点数
1	若い人がいなくて地域の行事や清掃ができない。地域活動を支える後継者がいない	97.7
2	部落費や校区費が高い	96.6
3	子どもの数が減って、今後小学校の存続が心配。子育てがしにくい環境である	95.5

女性

		点数
1	スーパーや商店がない (少ない)	96.4
2	部落費や校区費が高い	81.3
3	若い人がいなくて地域の行事や清掃ができない。地域活動を支える後継者がいない	69.2

Point

70代~90代は暮らしのなかで校区費や集落費が高いことに関心がある。
また、若い世代がいないことも危惧している。



国上校区

地域ワークショップアンケート

質問2

国上校区 地域ワークショップアンケート 00_全体集計_こうありたい未来 (点数順)

質問2_地域のこうありたい未来 点数順

		点数
1	行事は最小限にし、区長や集落長など役員の負担を減らすことにより自治会が維持できる	342
2	このまま穏やかな自然や文化のなかで暮らしたい	222
3	集落費や校区費を下げて現在、住んでいる地域に住み続けている	201
4	ゴミ出しや草刈などの支援や見守り、安否確認ができる支援が増え、高齢者が住みやすい	195
5	高齢者がいつでも移動できる交通機関の手段を確保し、行きたいところに移動できる	165
6	大型ショッピングセンターやコンビニを誘致し、交流人口が増える	132
7	校区内で高齢者施設や拠点施設をつくり、見守り体制の構築や生きがいづくりの場がある	132
8	単身者が結婚できるようサポートし、人口が増えている	114
9	移住者を受け入れて人口が増えている	111
10	健康寿命を伸ばし、自立した高齢者が増えている	108
11	農業等を核とした一次産業の発展により人口が増えている	93
12	空き家が管理できる仕組みを構築し、人口が増える	81
13	災害時に避難できる頑丈な避難場所が確保され、災害に強い地域づくりができています	75
14	既存企業への支援や企業誘致により働く場の確保ができています	69
15	観光客が増えるように観光地化し、交流人口が増える	66
16	安心して子育てできるような子育て支援が充実している	64
17	小学校の留学生を増やし、複式学級がなくなる	60
18	住民同士の交流を深めることにより、地域行事を存続できている	57
19	その他	12

国上校区 地域ワークショップアンケート 00_全体集計_こうありたい未来 (男女別)

質問2_地域のこうありたい未来 男女別

全体

		点数
1	行事は最小限にし、区長や集落長など役員の負担を減らすことにより自治会が維持できる	342
2	このまま穏やかな自然や文化のなかで暮らしたい	222
3	集落費や校区費を下げ、住んでいる地域に住み続けている	201

男性

		点数
1	行事は最小限にし、区長や集落長など役員の負担を減らすことにより自治会が維持できる	183
2	このまま穏やかな自然や文化のなかで暮らしたい	111
3	集落費や校区費を下げ、住んでいる地域に住み続けている	103

女性

		点数
1	行事は最小限にし、区長や集落長など役員の負担を減らすことにより自治会が維持できる	159
2	ゴミ出しや草刈などの支援や見守り、安否確認ができる支援が増え、高齢者が住みやすい	117
3	このまま穏やかな自然や文化のなかで暮らしたい	111

質問2_地域のこうありたい未来

10代~50代

男性

		点数
1	行事は最小限にし、区長や集落長など役員の負担を減らすことにより自治会が維持できる	81
2	大型ショッピングセンターやコンビニを誘致し、交流人口が増える	30
3	集落費や校区費を下げ、現在、住んでいる地域に住み続けている	24

女性

		点数
1	行事は最小限にし、区長や集落長など役員の負担を減らすことにより自治会が維持できる	66
2	このまま穏やかな自然や文化のなかで暮らしたい	33
3	大型ショッピングセンターやコンビニを誘致し、交流人口が増える	30
3	集落費や校区費を下げ、現在、住んでいる地域に住み続けている	30

Point

自治会を維持するためには、役員の負担を減らすことが優先と考えている。
スーパーや商店がないという困りごとの回答の裏側で、ショッピングセンターやコンビニの誘致をするに関心がある。

質問2_地域のこうありたい未来

60代

男性

		点数
1	行事は最小限にし、区長や集落長など役員の負担を減らすことにより自治会が維持できる	54
2	集落費や校区費を下げて現在、住んでいる地域に住み続けている	33

女性

		点数
1	行事は最小限にし、区長や集落長など役員の負担を減らすことにより自治会が維持できる	45
2	高齢者がいつでも移動できる交通機関の手段を確保し、行きたいところに移動できる	33

Point

役員の負担を減らすことが自治会の存続につながると考えている。
現状から改善し、住み続けたいと思っている。

質問2_地域のこうありたい未来

70代~90代

男性

		点数
1	このまま穏やかな自然や文化のなかで暮らしたい	75
2	行事は最小限にし、区長や集落長など役員の負担を減らすことにより自治会が維持できる	48
3	校区内で高齢者施設や拠点施設をつくり、見守り体制の構築や生きがいづくりの場がある	45
3	ゴミ出しや草刈などの支援や見守り、安否確認ができる支援が増え、高齢者が住みやすい	45
3	集落費や校区費を下げ、住んでいる地域に住み続けている	45

女性

		点数
1	このまま穏やかな自然や文化のなかで暮らしたい	51
1	行事は最小限にし、区長や集落長など役員の負担を減らすことにより自治会が維持できる	48
3	集落費や校区費を下げ、住んでいる地域に住み続けている	48
3	高齢者がいつでも移動できる交通機関の手段を確保し、行きたいところに移動できる	45

Point

70代~90代は、このまま穏やかに暮らすことを望んでいる。
また、自治会が維持でき、高齢者がすみやすい未来を望んでいる。



国上校区

地域ワークショップアンケート

参考

国上校区 地域ワークショップアンケート 00_全体集計_校区の困りごと

質問1_校区の困りごと 回答

		優先1	優先2	優先3	全体数	点数
1	校区や集落の役員のなり手がいない（負担が大きい）	107	70	47	224	454.1
2	子どもの数が減って、今後小学校の存続が心配。子育てがしにくい環境である	92	60	44	196	381
3	独居・単身者が多く、見守り体制が不安、不十分である	25	30	27	82	104
4	住民同士の交流が少なく、住民同士の繋がりが希薄である	12	32	20	64	71.6
5	若い人がいなくて地域の行事や清掃ができない。地域活動を支える後継者がいない	77	102	62	241	441
6	危険箇所が多い（防犯灯・カーブミラー等の設置が不十分）	25	34	32	91	134
7	自宅の修理や空き家の管理ができていない	19	30	29	78	93.1
8	スーパーや商店がない（少ない）	117	69	58	244	480
9	行事やイベントが多すぎる	29	41	55	125	186
10	部落費や校区費が高い	91	70	72	233	422
11	働く場がなく（少なく）、賃金も少ない	36	46	42	124	189
12	地域公共交通等交通機関の利用時間が合わない	11	22	26	59	62.9
13	行きたいところに行ける利用しやすい交通手段がない	24	32	35	91	126
14	頼れる家族や親戚が近くにいる人が少ない	20	31	26	77	90.2
15	高齢者や障害者など支援の必要な方を支援できる人がいない（支援者の負担が大きい）	32	30	34	96	130
16	災害時に避難する場所がなく、防災等に対する取り組みが少ない	9	16	22	47	41.2
17	道路が舗装されていない	9	16	23	48	48.9
18	その他	3	1	2	6	8.75

質問2_地域のこうありたい未来 回答

		点数
1	移住者を受け入れて人口が増えている	111
2	単身者が結婚できるようサポートし、人口が増えている	114
3	小学校の留学生を増やし、複式学級がなくなる	60
4	農業等を核とした一次産業の発展により人口が増えている	93
5	大型ショッピングセンターやコンビニを誘致し、交流人口が増える	132
6	校区内で高齢者施設や拠点施設をつくり、見守り体制の構築や生きがいづくりの場がある	132
7	既存企業への支援や企業誘致により働く場の確保ができています	69
8	空き家が管理できる仕組みを構築し、人口が増える	81
9	高齢者がいつでも移動できる交通機関の手段を確保し、行きたいところに移動できる	165
10	観光客が増えるように観光地化し、交流人口が増える	66
11	災害時に避難できる頑丈な避難場所が確保され、災害に強い地域づくりができています	75
12	ゴミ出しや草刈などの支援や見守り、安否確認ができる支援が増え、高齢者が住みやすい	195
13	住民同士の交流を深めることにより、地域行事を存続できている	57
14	安心して子育てできるような子育て支援が充実している	64
15	健康寿命を伸ばし、自立した高齢者が増えている	108
16	このまま穏やかな自然や文化のなかで暮らしたい	222
17	集落費や校区費を下げて現在、住んでいる地域に住み続けている	201
18	行事は最小限にし、区長や集落長など役員の負担を減らすことにより自治会が維持できる	342
19	その他	12